

2014 年度後期 学科教育改善委員会 議事録

1. 開催日時：平成 27 年 3 月 23 日（月）9:30-11:20
2. 開催場所：S2 棟 3F 会議室
3. 出席者：常勤教員：金利昭，沼尾達弥，呉智深，横木裕宗，山田稔，原田隆郎，井上凉介，
信岡尚道，村上哲，熊澤貴之，平田輝満，車谷麻緒，一ノ瀬彩
（全常勤教員 15 名のうちの 13 名が出席）
（常勤教員のうちの欠席者：桑原祐史，藤田昌史）
非常勤教員：なし，教務職員：なし

1) 開会の挨拶（学科長）

議事次第に沿って議題を説明され、諸注意がなされた。

2) 前期学科各科目の点検と評価

1. 主題別ゼミ（呉，村上，藤田，平田）
 - ・ 受講者はすべて A+であった。(呉)
 - ・ 学生が作成したレジュメと PPT はよくまとめられていた(村上).
 - ・ アクティブラーニングを取入れた(村上).
 - ・ 都市交通分野で学生が自由なテーマを設定させた。学生のモチベーションも高く、1対1のディスカッションは大変だったが有意義であった(平田).
 - ・ 科目の評価基準を教員間で事前に統一化するのも必要.次回主任担当の教員が調整する.
 - ・ 評価基準は、出席や提示した課題をまじめに取り組んだことを評価するのが中心.
 - ・ 事前に主題別ゼミ A~D の担当教員間で話し合い、FD 研修会で報告する.
2. 剛体の力学（原田）
 - ・ 受講者の成績が上がった.
3. 都市・地域計画（金）
 - ・ 不合格者数が減った.
 - ・ アンケート結果が向上した.
 - ・ レナンディを活用して授業資料をこまめにアップした.
 - ・ 授業中わかりづらい、見づらい資料を改善するなどした.
4. 材料力学（車谷）
 - ・ 宿題を毎回出題したことがアンケート結果の良い点として挙げられた.
 - ・ 中間試験と同内容の課題を事前に解かせて悪い点数を評価対象とし、復習の機会を増やした.
5. 線形代数Ⅱ（湊 代理横木）
 - ・ 合格点が 60 点以上となり不合格者が増えた.
6. 構造力学Ⅱ（車谷）
 - ・ 部分点を与えない採点方法を実施した.
 - ・ 毎回課題を出しているが、解ける程度の課題にしており、不満もない.
 - ・ 受講者数は多かったが理解度は下がらなかった.
 - ・ 板書を中心に行った.授業中教室を歩き回るようにした.

7. 水理学Ⅱ（横木）
 - ・ 学生の理解度は概ね良いが、もう少し高くなってもよい。
 - ・ 成績に関係のない課題を課して、その解説を行い、で授業内容を補強した。
8. 土の力学Ⅱ（村上）
 - ・ 例年通り実施した。授業中にグループで考える時間を設けたのがよかった。
 - ・ 授業評価アンケートの評価点を車谷先生に負けないように頑張る。
9. 建設工学演習（横木・村上・車谷）
 - ・ 例年通り実施した。
 - ・ 授業内に課題を実施し、宿題を無くした(車谷)
10. コンクリート構造学（原田）
 - ・ 不合格者数が多かった。
11. 数学解析Ⅰ（植木, 代理桑原）
 - ・ 受講者がもう少し多くなると良い。
 - ・ 自宅学習時間が少ない。
12. 数理統計Ⅱ（横木）
 - ・ 内容を理解している学生は計算ができ、計算できない学生は内容を理解していない。
 - ・ 授業の前半から丁寧に説明をしていくことが必要。
13. 上下水道工学（藤田・代理横木）
 - ・ 特に問題無し。
14. 交通システム（山田）
 - ・ 成績分布が向上した。
 - ・ 予習・復習の時間が増えた。
 - ・ 学生の満足度や進捗、理解度がやや低くなった。
 - ・ 前半学生を引きつける授業の工夫を前年度の授業内容も取り入れたい。
15. 社会システム（金）
 - ・ 講義 13 回とトピックス的な内容を平田先生にお願いし、全 15 回の授業を実施した。
 - ・ 課題を多く出題したが、自宅学習時間が少なかった。
16. 景観工学（熊澤）
 - ・ 10 回程度小レポートを提出して、授業の復習をさせるように工夫した。
 - ・ E1 棟 22 番教室は晴れていると日差しで画像が見にくく、授業を進める上で支障があった。
 - ・ 可能であれば次年度は教室変更する。
 - ・ 景観工学の基本的内容はこれまでの授業をベースとし、建築的要素を付加した。
17. 都市設備及び住居環境（沼尾）
 - ・ 例年通り実施したが、期末試験を若干やさしくしたこともあり成績は向上した。
 - ・ レポートにかかった時間を学生が記入するようにして学習時間の把握をした。
18. 測量学実習（桑原）
 - ・ 技術員の協力により授業説明等を工夫した結果、学生の成績 A 以上が増えた。
19. 都市システム工学製図Ⅱ（熊澤・中尾）
 - ・ 4 つの課題を出題して学生は全て提出した。
20. 構造工学（呉）
 - ・ 講義 13 回、演習 2 回を実施した。

- ・ 受講生が3名と少ないのは問題。

21. 建設施工（呉）

- ・ 非常勤の教員3名の授業内容はとても良かった。
- ・ 非常勤が提出する配布資料準備などフォローするのが大変であった。
- ・ アンケートで資料が多いという学生の意見もあった。

22. 地下構造学（小峯 代理村上）

- ・ 例年通り実施した。
- ・ アンケート結果も良い。学生に考える時間や質問を投げかけるなど双方向の授業をしている。

23. 輸送施設工学 港湾・空港（平田）

- ・ 昨年度同様の内容で実施した。
- ・ 1回目は台風のため、見学道中で補講した(2時間程度)。
- ・ 学生も興味を持って授業に取組んでおり、満足度も高かった。

24. 河川・水循環工学（白川 代理横木）

- ・ ここ数年20名程度で受講生が多い
- ・ 2コマ連続でだれないように工夫し、メール等でもやりとりを行っている。

25. 都市システム工学実験Ⅱ（井上・村上・車谷）

- ・ 各班の人数を減らし、実施回数も減らした。

26. 都市システム設計演習Ⅱ（井上・村上・原田・信岡・車谷）

- ・ 満足度は概ね良い。
- ・ レポートを出さない学生がいた(井上)。

27. 空間情報工学演習（桑原）

- ・ 測量学2に該当する実習を実施した。
- ・ 選択必修になり意欲的な学生が受講し、最後まで授業に熱心に取組んだ。

28. 建築学概論（中尾 代理熊澤）

- ・ 受講生は10名程度であった。
- ・ 講義後にレポート形式で授業を実施した。

29. 都市システム工学特別講義（山田）

- ・ 例年通り実施した。
- ・ 大学院卒業後に就職したOBと学部卒業で就職したOBの講義内容に差があった。
- ・ 履修者が少なかった。
- ・ 教員の準備不足への評価がやや高めだった。
- ・ ジョブカードの提出などを実施する等の工夫も今後必要。

30. 都市システム工学学外実習（山田）

- ・ 当初は希望者が多いが実際に履修する学生が増えない
- ・ 積極的に各教員が講義等の中で声かけする必要もある。
- ・ インターンシップについては1年生の時から声掛けしている(村上)。
- ・ 3年次にインターンシップへ行った学生と大学院進学率とに相関があるようにはみえない。
- ・ インターンシップのタイミングやインターンシップに関する学生への説明について5月早々に始めるため、次年度クラス担任と学科長で調整する。

31. 卒業研究（学科長）

- ・ 問題点・課題については発表会後の判定会議で議論している。卒研評価シートは後で回覧する。

【学部】 その他、今後の検討内容

- ・ 授業評価点検ファイルには、成績最低ランク 3 名者の成績評価に関する資料はファイルに紙面コピーを入れる。それ以外は CD で対応。
- ・ 非常勤講師に対して他の科目との比較や意見がわかるように議事録等をフィードバックする。
- ・ インターンシップのタイミングやインターンシップに関する学生への説明について 5 月早々に始めるため、次年度クラス担任と学科長で調整する(再掲)。
- ・ 次年度の推奨授業の検討(受講者 10 名以上).推奨授業の報告もすること。

以上

2015 年度後期 学科 FD 研修会 議事録

1. **開催日時** : 平成 27 年 3 月 23 日 (月) 13:30-17:00
2. **開催場所** : S2 棟 3F 会議室
3. **出席者** : 常勤教員 : 金利昭, 沼尾達弥, 呉智深, 横木裕宗, 山田稔, 原田隆郎, 井上凉介, 信岡尚道, 村上哲, 桑原祐史, 藤田昌史, 熊澤貴之, 平田輝満, 車谷麻緒, 一ノ瀬彩
(全常勤教員 15 名が出席) ※途中退席 : 沼尾達弥, 横木裕宗, 井上凉介
次年度新任教員 : 小林薫

【FD 研修会 1:教育方法の PDCA】 13:30-15:10

下記 1) ~ 3) のトピックについて意見交換を行った。

- 1) 次年度卒研について
 - ・ 卒業研究後の指導に関して教員が自己点検できるような仕組みがあると良いという意見が出され、この件については具体的な方法も含めて今後議論していくことになった。なお、外部に受け入れられる評価であった方がよいという意見があった。
- 2) 新カリ・JABEE について
 - ・ JABEE についての確認事項と課題について確認した。
 - ・ 科目ごとの自己学習時間の工夫に関する事項を今後確認し、次年度の新体制で検討する。
 - ・ 新カリと旧カリの振替、旧カリ対象学生の単位認定の対応方法について今後検討する。
- 3) 学科スペースについて
 - ・ 各分野で必要なスペースと安全衛生面の見直しを検討していく。
 - ・ S2 棟 1F は共有するスペースとしてプロジェクトベースの申請に基づき利用していく。

【FD 研修会 2:学生の声】 15:20-16:30

下記 1) ~ 4) のトピックについて報告及び意見交換を行った。

- 1) 学科長から学生の要望、学生の声など学生指導の留意点について報告がなされた。
 - ・ 学生の声に未然に対処できるよう学科として体制を見直す必要性が説明された。
 - ・ 学生が相談できる環境づくりや教員を守る対応方法も今後検討が必要である等の意見が出された。
- 2) 平成 26 年度卒業生アンケート結果の報告
(資料 : 平成 26 年度都市システム工学科の教育方法に関するアンケート調査)
 - ・ 各教員がアンケート結果をもとに授業の工夫・改善を行うなど見直す。
 - ・ 三力について担当教員間で事前 FD をするなど必要である等の意見がだされた。
- 3) 学生懇談会の報告(資料 : 平成 26 年度都市システム工学科 教員・学生懇談会議事録)
 - ・ 授業内で、他分野の研究や学生誘導に関する教員の発言、休講の事前連絡への配慮、修士 1 年向けガイダンスに関しての学生意見が報告された。
 - ・ 他分野の研究や事前の学生個人勧誘に関する教員の発言に配慮することを確認した。
 - ・ 教員は、卒業研究発表会や大学院発表会での質問者としてのマナーを心がけるとともに、学生が多様な質問に答えられるように指導していく。
 - ・ 研究室や学生居室での飲食後のゴミなどは適切に廃棄すること。
- 4) 教育研究施設と安全管理についての報告

(資料：平成 26 年度都市システム工学科 拡大安全委員会 議事録)

- ・ S2 棟 S3 棟の鍵の施錠や実験室の安全衛生管理を次年度検討していくことが確認された。

【FD 研修会 3:教員の職務と規律】 16:30-17:30

領域長から学科運営にあたって、学科会議出席率、教員の留意事項、教員資格の要件、業績評価、この一年の反省、等教員の職務と規律について報告された。

- ・ 学生をどのように教授するかのも明確な役割が不明瞭であることについて今後検討していく必要がある。
- ・ 学科の FD 研修内容や将来の学科の方向性について次年度検討していく。

以上

